

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、市民の現在の健康状態や生活習慣、各種健（検）診の状況などをお聞きし、計画における目標の達成状況を把握することで、平成29年度に予定している「さいたま市ヘルスプラン21（第2次）」の中間評価、「第2次さいたま市食育推進計画」の評価及び次期計画の策定の基礎資料とするために実施しました。

2 調査設計

調査地域：市内全域

調査対象者：市内在住の15歳以上の男女各2,500人 計5,000人

調査期間：平成28年6月20日～平成28年7月15日

調査方法：郵送による配付・回収

抽出方法：15～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の7階層に分け、無作為抽出（端数2名は70歳以上の男女に1人ずつ加算）

設問分野：健康観・健康状況、身体活動・運動、休養・こころの健康、たばこ、お酒、歯の健康、栄養・食生活、疾病予防・健康診断等について

3 回収結果

年齢階層	配付数（票）	有効回収数（票）	有効回収率（％）
15～19歳	714	288	40.3
20～29歳	714	217	30.4
30～39歳	714	319	44.7
40～49歳	714	343	48.0
50～59歳	714	350	49.0
60～69歳	714	451	63.2
70歳以上	716	456	63.7
年齢不詳	—	16	—
合計	5,000	2,440	48.8

※有効回収数（票）：回収調査票のうち、無効票（全問未記入）を引いた数

参考	平成24年調査	5,000	2,407	48.1
	平成23年調査	4,000	1,837	45.9

※平成24年調査：「さいたま市 健康についての調査」

平成23年調査：「さいたま市 食育に関する調査」（調査対象者をライフステージ毎に同数の無作為抽出としたため、今回の調査とは年齢構成が異なる。）

4 報告書の見方

- 総括の斜字の部分は、今回の調査結果から分かることを記述しています。
- 結果は、それぞれの設問に該当する回答者を基数とした回答率（％）で表しています。
- 回答率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがあります。
- 回答者が2つ以上回答することができる設問(複数回答)の場合、その回答率の合計は100%を超えることがあります。
- クロス集計結果の図表については、それぞれに「無回答」があるため、全体の示す数値とは一致していない場合があります。
- クロス集計の表については、「その他」「無回答」を除いて、横軸で見た際の第1位と第2位の回答を下記のように塗りつぶしている場合があります。

45.0 : 第1位

35.0 : 第2位

- 選択肢の一部を省略・編集している場合があります。
- 「計画における数値目標のデータ」は、次のマークで表示しています。



: さいたま市ヘルスプラン21（第2次）



: 第2次さいたま市食育推進計画

- 各ライフステージの年齢は次の通りです。

青年期：16～24 歳

成人期：25～39 歳

壮年期：40～64 歳

高齢期：65 歳以上

- 計画の目標数値及びクロス集計については、無回答を除いて「カイ二乗検定」により独立性（関連性）の検定を行いました。

「カイ二乗検定（独立性の検定）」とは、それぞれが独立している（関連性がない）と仮定し、公式によりカイ二乗値及び有意確率を求め、有意確率が有意水準（一般的に 0.05 とする）より小さい場合に有意な差を認めたと（すなわち、関連性がある）と判断しています。有意水準を 0.05 とした場合より、0.01 とした場合のほうがより信頼性が高くなります。

- ※性別、年代別等のクロス集計は独立性（関連性）の検定を行い、単一回答設問は図表タイトルに、複数回答設問は選択肢に印を付しています。

*：有意確率 0.05 未満

**：0.01 未満